

要 覧

Nagano prefecture Forestry Research Center



長野県林業総合センター

〒399-0711 長野県塩尻市大字片丘5739番地

TEL:0263-52-0600(代) FAX:0263-51-1311

URL <http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyosogo/>

E-mail ringyosogo@pref.nagano.lg.jp

はじめに

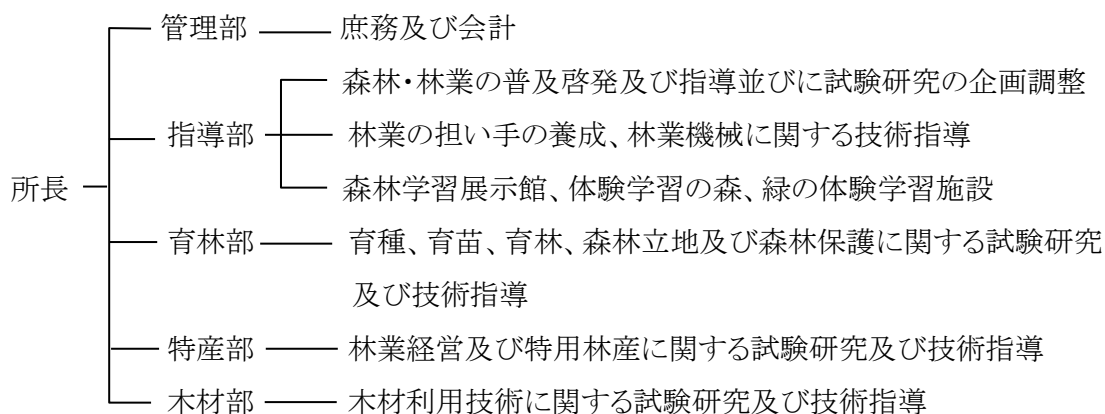
長野県林業総合センターは、本県の森林・林業の試験研究及び林業の担い手養成機関として昭和36年に林業指導所として始まり、昭和63年には林業総合センターに改組され今日に至っております。この間、健全な森林整備の推進、特産林産物による経営改善、木材利用の促進など、森林・林業に関わる技術的課題の解明と解決を図ってまいりました。

こうした成果もあって本県の森林資源は充実し、森林を育てる時代から本格的に利用する時代へと変化してきました。さらに、今日では森林の公益的機能に対する期待や、世界的な気候変動への対応など、森林・林業に対する期待や果たすべき役割が一層大きくなっています。このような時代に対応し、「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて、森林・林業に関する県民の要望に沿った技術開発や調査研究、企業からの受託研究などを通じて、地域の産業振興や山村地域の活性化に努めてまいります。

沿革

- 昭和36年4月 長野県林業指導所 発足（塩尻市宗賀桔梗ヶ原の県営苗圃内）
 - 庶務部、教育指導部、業務部、育種部、木材部及び付属目立技術者養成所で組織
- 昭和40年3月 高遠町に付属林業機械化指導所を設置
- 昭和41年3月 付属目立技術者養成所を廃止
- 昭和49年4月 付属林業機械化指導所を廃止
- 昭和63年3月 新施設建設に伴い、現在地に移転
- 昭和63年4月 長野県林業総合センターと改称
 - 管理部、指導部、育林部、特産部及び木材部を設置
 - 森林学習展示館及び緑の体験学習施設を併設
- 平成11年8月 「体験学習の森」 オープン

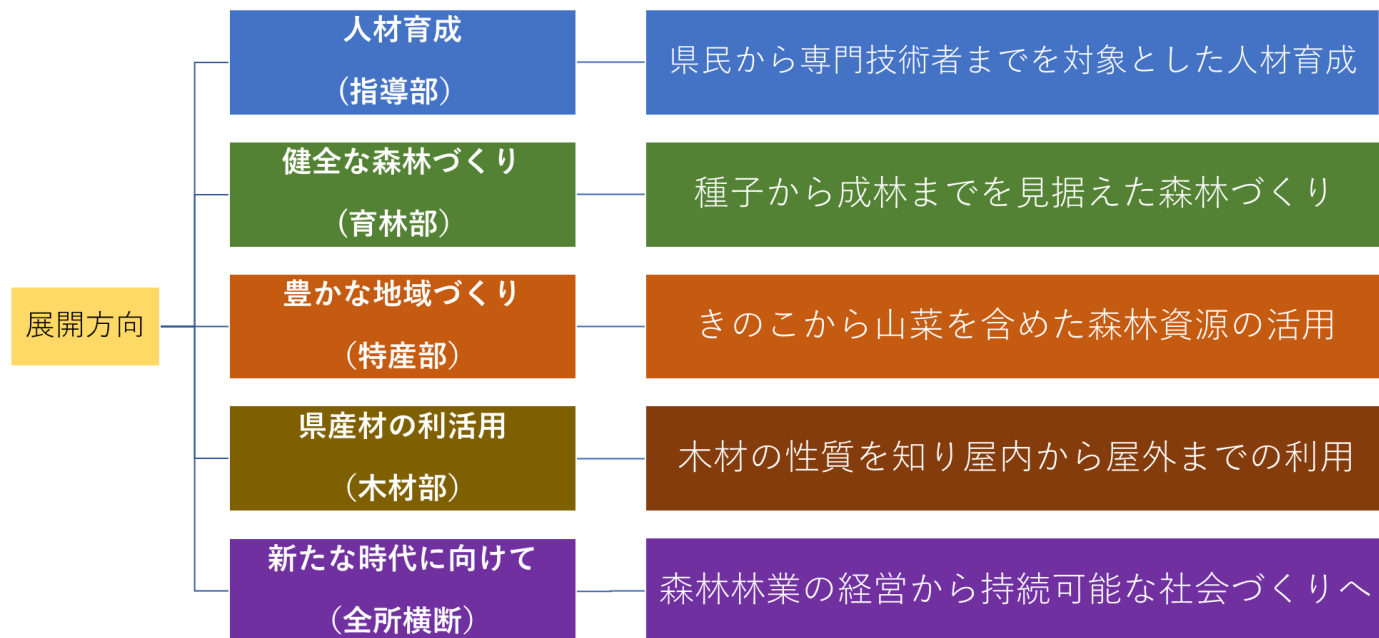
組織及び業務内容



試験研究及び技術指導の展開方向

現場のニーズに応える技術開発や人材育成で、本県の森林・林業の持続的発展に寄与します。

基本目標：森林を活かし健全な姿で次の時代に引き継ぐために



新たな時代の森林・林業を切り拓く

全所横断で取組む

当センターの試験研究や技術指導は各部の専門性を活かすもの以外に、関係機関と連携しながら全所が横断的に取り組む課題もあります。

新たな森林資源の有効活用

森林・林業の新たな経営資源の開拓や、空間利用の拡大を行うことで、収入増や地域活性化につなげます。



森林セラピー実験

技術支援・依頼試験・技術協力

地域の森林・林業木材産業等との積極的な連携をすすめています。



壁せん断試験の様子

ゼロカーボン施策の推進

気候変動対策への対応



気候変動にかかる調査協力

Training and Guidance Div.

技術指導機関として技術の普及指導に努めています。

森林・林業の担い手を育成するために技術指導を行っています。
研究成果を現地で活用できるよう、技術の普及指導に努めています。
安全で効率的な林業の実現に向けた技術開発を進めています。

県民に向けた森林・林業の普及啓発

体験学習の森及び森林学習展示館を利用して、児童生徒をはじめ広く県民の皆様に森林環境教育や森林・林業に関する知識、技術の普及啓発を行っています。



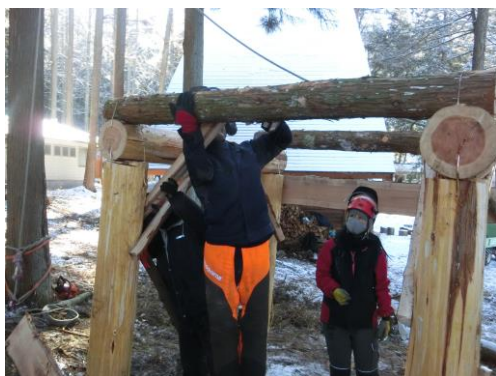
森林教室(森での遊び)

林業技術者育成

地域の中堅的人材となる林業士(2年間の研修を終了し認定審査に合格した者)の養成研修及び林業機械の担い手養成のために伐木造材技能者、林業架線作業主任者等の養成研修を行っています。



林業技術者養成講習(伐木造材)



森林林業セミナー(グループ活動)



林業士入門講座

安全で効率的な林業の実現

県内の立地環境に適した安全で効率的な作業を行うための技術開発を行うとともに、安全意識の向上に向けた取組を強化しています。



伐倒練習機による伐採練習

健全な森林づくり

育林部

Silviculture Div.

健全な森林を造成・維持するための管理技術の研究開発や病虫獣害・気象害などから森林を守るための防除技術の開発、森林の立地環境にかかわる研究を行っています。



カラマツコンテナ苗生産技術の開発

優良な苗木の生産

カラマツやアカマツ等の優良苗木の育苗に向けた試験を行っています。

多様な森林の育成管理技術の開発

人工林の間伐、森林の更新のための試験を行っています。



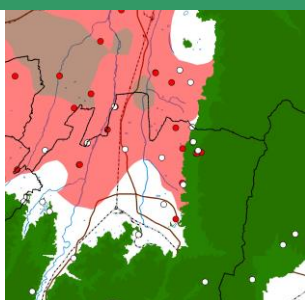
伐採造林一貫作業による造林コスト低減の検討
(左:機械地拵え, 右:コンテナ苗の植栽)

森林被害の低減

マツ材線虫病の媒介昆虫密度と被害先端地の把握、ニホンジカなどの獣害に対する防除対策の研究を行っています。



マツノマダラカミキリ密度調査



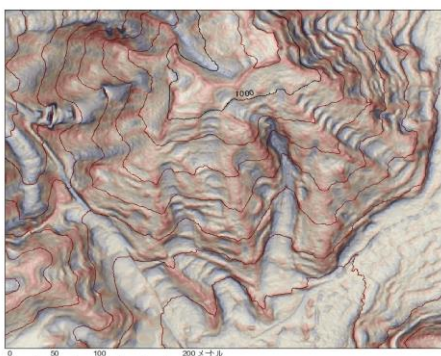
マツ材線虫病の被害マップ



ライトセンサスによるニホンジカ調査

山地災害の予防と早期復旧技術の開発

山地災害の発生しやすい場所の解明と災害発生後の早期復旧に向けた効率的な調査方法の研究を行っています。



CS 立体図の開発



台風による倒木被害

豊かな地域づくり

特産部

Forest Products Management Div.

マツタケ、イグチ類など菌根性きのこの増産技術を研究しています。

食用きのこの原木・菌床栽培技術の改良、品種の開発研究を行っています。

里山を利用したきのこ栽培技術の開発研究を行っています。

山菜、特用樹、精油等の生産技術と新用途を究明しています。

菌根性きのこ増殖技術の開発

マツタケ、ホンシメジ、イグチ類の林地における環境改善施業方法、人工接種技術の開発を行っています。



マツタケ山での環境改善施業

地域の再生に寄与する腐生性きのこ栽培技術の開発

各品目、品種に適合する培養技術と発生管理技術の向上を目指します。



ナメコ
(長林総 N1 号)



菌床シイタケ



ヌメリスギタケ
(長林総 NU1 号)



ヤマブシタケ
(長林総 Y1 号)



「きのこの簡易接種法」

特許第 564021 号

ワリバシ種菌を用いて
発生したクリタケ



コシアブラ



ギョウジャニンニク



モミジガサ

里山等の幅広い地域資源の活用

特用樹、山菜、薬用植物、精油等の栽培生産技術と用途開発を行っています。

Wood Technology Div.

木材の利用促進を図るため、木材の材質・諸特性の解明のための各種試験、加工・利用技術の開発を行っています。

安全安心な 木質建築部材の開発

大径材の材質特性を活かした無垢構造材の製材・乾燥技術の開発とその性能評価、及び、高剛性、高強度部材の開発とその性能評価を行っています。



信州カラマツ大径材



県産無垢梁桁材



県産材乾燥試験



実大材曲げ試験

暮らしの中で活かす 県産広葉樹製品の開発

未利用の広葉樹資源の有効活用に向けて利用方法の開発を進めています。



広葉樹材ビニールハウス乾燥



県産広葉樹製品

新たな技術を活用した 高品質木材開発

寸法安定性の高い屋内部材や耐久性の高い屋外部材の開発を進めています。



熱処理木材



木製遮音壁



カラマツを使用した
高校体育館の壁板



高温セット乾燥法の開発



カラマツを使用した木造建築物



接着重ね梁の開発

施設案内

位置 (本館棟)
 北緯 36° 8' 27"
 東経 138° 0' 0"
 標高 845m
 敷地面積 427,858.13 m²
 建物延面積 28棟 5,803.19 m²

- 1 緑の体験学習施設
- 2 森林学習展示館
- 3 本館棟
- 4 研修宿泊棟
- 5 指導部研修施設
- 6 木材部研究施設
- 7 育林部研究施設
- 8 特産部研究施設
- 9 体験学習の森
- 10 炭窯
- 11 ビオトープ
- 12 あずまや
- 13 駐車場



交通案内

塩尻駅下車
 タクシー…………約20分
 広丘駅下車
 タクシー…………約10分
 村井駅下車
 タクシー…………約15分

